



人・農地プランが 新たに作成されました！

高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など農村を取り巻く状況は厳しく、人と農地に係る様々な問題を抱えています。神戸市では、それぞれの集落・地域において話し合いを行い、将来の農地管理の展望を描く「人・農地プラン」の作成を支援しています。

このたび、平成 28 年 8 月にプラン検討会を行い、新たに西区で 3 集落が認定されました。また、北区で 3 集落、西区で 3 集落のプラン更新も認定されました。これにより、北区で 21、西区で 38 合計 59 プランが策定されたこととなります。

新たにプランの作成を希望される場合は、農業振興センターふる里振興係にご連絡下さい。

〔お問い合わせ先〕

ふる里振興係 Tel:975-6860



お米オーナー生き物調査・ 花の観察会



8 月 7 日（日）に、西区 榎谷町松本でお米オーナーを招いて稲の花の観察会・水路の生き物調査が行われました。

稲の生育が予定より遅れ、花の咲いている株が少なかったものの、普段見ることのない稲の花を見た参加者は、稲にも花が咲くことを知って驚かれてました。

また、前回雑草抜きを行ったにもかかわらず、コナギ・ホタルイの繁茂する田んぼを見て、無農薬栽培の難しさを知っていただきました。

その後、農業用水路に生息する生き物調査を行い、少ないながらもメダカが確認できました。



「有害鳥獣対策研修会」を開催

8 月 31 日（水）、JA 兵庫六甲本店で有害鳥獣対策研修会を開催しました。市の有害鳥獣被害防止対策の説明のあと、県森林動物研究センターの畑先生に、イノシシ、アライグマの生態や防除方法などについて、わかりやすくお話しいただきました。

(1) イノシシの生態

雑食性。年に 1 回 4～5 頭を出産する。跳躍力は 1～1.2m。嗅覚は犬以上。鼻の力が強く、60～70 kg の物は持ち上げてしまう。行動圏は 1.5 km 程度。

(2) アライグマの生態

雑食性。4～5 月に 3～5 頭を出産する。手を器用に使い、木登りや泳ぎが得意。行動圏は 4 平方 km で、山と集落を行き来している。



上北古里づくり協議会と 兵庫区子ども会連合会との 稲刈り・いもほり・餅つき体験 による交流事業



平成 28 年 9 月 18 日 (日)、西区神出町上北古里づくり協議会の子ども会 (14 名) と、兵庫区子ども会連合会 (62 名) による農業体験を通じた交流が行われました。交流事業は、今年で 3 年目になります。

最初に、稲刈り体験では、子どもたちが鎌で稲刈りを行い、稲を乾燥するため、稲木掛けを行いました。地元でも、稲木掛けは 30 年ぶりとのことでした。



いもほり体験では、大きなサツマイモがたくさん掘れ、子どもたちは大喜びでした。餅つき体験でも、杵を力いっぱいつき、つきたてのお餅を自分たちで丸めて食べました。

また、昼食では、上北古の、とれたての新米を試食し、楽しい一日を過ごしました。



神戸学院大学の学生による 神戸ワイン用ぶどうの 収穫ボランティア



神戸市では、市民が市内農業を継続的に支援できる体制を作るため、「農業サポーター育成登録制度事業」を実施しています。

このたび、活動の一環として、神戸ワイン用ぶどうの収穫作業が、農業サポーターである、神戸学院大学の学生ボランティアにより行われました。



ワイン用ぶどうの収穫は、短期間に多人数による手作業が必要です。

一生懸命作業に汗を流す大学生の姿に、生産者からも感謝の声が数多く聞かれました。

作業の様子が、NHK「正午のニュース」と「ぐるっと関西 おひるまえ」で放映されました。

期 間：8 月 22 日(月) ~ 27 日(土)

場 所：西区平野町印路

参加者：神戸学院大学ボランティア活動

支援室学生スタッフ環境班と

一般学生 1 日 4 名参加

